

医科研究会 日医生涯教育制度認定講座(申請中)

動脈硬化の新事実

～LDLコレステロール悪玉説の背景にリノール酸～

たなか ひろゆき

田中裕幸 先生

医療法人ニコークリニック院長

日本循環器学会認定循環器専門医、医学博士

1972年佐賀西高校卒業、1978年長崎大学医学部卒業後、九州大学医学部皮膚科、久留米大学第三内科(循環器)を経て、1994年ニコークリニック開業。学会・研究会活動：日本性差医学・医療学会評議員、更年期と加齢のヘルスケア学会幹事。保健同人社電話健康相談指導医。著書に「知って得する女性の医療学講座」(西日本新聞社)、「日本人はコレステロールで長生きする」(PHP研究所)、「男女で違うメタボとコレステロールの新常識」(廣済堂出版)

参加費
無料**講師からのひとこと**

私はこの15年間、開業医として血清脂質、脂肪酸と動脈硬化の関係について臨床研究を行ってきました。その結果を佐賀県保険医協会にご協力いただき、今回、報告させていただきます。①LDLコレステロールが高い人はリノール酸(必須脂肪酸)が高いことがわかりました。つまり、リポ蛋白LDLに含まれるコレステロールエステルの主な構成脂肪酸はリノール酸なのです。リノール酸は植物油と肉に多く含まれているため、実用的なコレステロール対策が可能です。②LDLコレステロールの値は180mg/dL以上になると急に頸動脈球部のプラーク形成が進んでいました。そのためLDLコレステロールの治療開始基準値は180以上で良いと考えられます。③リノール酸が高くなるほどプラークが多く観察されました。この結果、プラーク形成はLDLコレステロールではなくリノール酸に依存していることがわかりました。④スタチンはLDLコレステロール以外にリノール酸、アラキドン酸、オレイン酸、EPAやDHAを低下させました。⑤EPAやEPA+DHA製剤はEPAを上げ、DGLA、アラキドン酸やオレイン酸を低下させました。尚、研究の対象は主に更年期以降の女性です。

以上の結果を踏まえ、先生方の日常臨床にお役に立つお話ができればと考えています。また栄養に関心のある方もご参加ください。

それでは、当日お会いできるのを楽しみにしております。

2016年

日時 **3月10日(木)19:30～**会場 **アバンセ4F 第3研修室**

佐賀市天神3丁目2-11 TEL0952-26-0011

*参加対象/医師、スタッフ

主催

佐賀県保険医協会

☎(0952)29-1933

FAX(0952)23-5218

E-mail: hoken-i@star.saganet.ne.jp

■FAX参加申込書

FAX (0952)23-5218

動脈硬化の新事実

～LDLコレステロール悪玉説の
背景にリノール酸～

2016.3.10(木)

参加人数

名

医療機関名

御氏名

御住所 〒
☎() -